

す。

例えば、子どもたちの得意なことを生かした係活動をするとか、子どもたちの発想を生かした集会（イベント）を行うとか、帰りの会で「よいこと見つけ」をするとかです。

その2 協力し合って何かを解決させよう

→協力し合って何かを成し遂げる経験というのは、なかなかできているものではありません。やはり、教師がそういう場を意図的につくっていくことが大事です。

例えば、実行委員会制を取り入れて、みんなで協力し合って行うイベントを仕組むなどです。

===== (4) 話し合いを好きにするアイデア =====

話し合うことを好きにしておくことが、話し合い活動を活性化するポイントになることは、当然のことです。そこで、2つの視点から支援していきましょう。

その1 話し合いで解決するよさを味わわせよう

その2 学級の自慢を共有化させよう

それぞれについて紹介します。

その1 話し合いで解決するよさを味わわせよう

→先生が解決する前に、子どもたちに任せてみよう。

子どもたちは、自分たちが信頼されているということを感じると、予想以上の力を発揮することがあります。

まず、子どもたちを信じて任せてみることも大事です。

自分たちで話し合って問題を解決していく経験を積むことで、間違いなく“話し合い大好き子”になります。

その2 学級の自慢を共有化させよう

→学級オリジナルイベントを仕掛けよう。そのイベントを子どもたちの話し合いで作りに上げていこう。

例えば、実行委員会制を生かして、いろいろなイベントを仕掛けていきます。私がよく使うパターンは、学級のシンボルをネーミングに使ったイベントのシリーズ化です。

“太陽学級杯 第〇回学級自慢大会”など、いかがでしょう。
これだと、ただの集会ではなく、「学級づくりのための集会」という意識づけ
を行うことができますので、終わった後の充実感が違ってきます。

オリジナルイベントの例については、別の機会に紹介します。
お楽しみに！

このような実践を通すことによって、学級文化もできあがっていきます。

続きは次号で

2 学習指導要領解説～特別活動編～を読む その7

山口市立平川小学校 梶田崇晴

解説書の第2節に「特別活動の基本的な性格と教育的意義」という項目があります。
現行の解説書では、「第3節 特別活動の基本的な性格」として6ページで書かれて
いたものが、新しい解説書では、20ページが使われています。

その「1」は「人間形成と特別活動」という項立てになっています。そこには、次
の3つのことが書かれています。

- (1) 学校における集団活動や体験的な活動の一層の充実
- (2) 「発達課題の達成」の理解に基づいた指導
- (3) 学校生活における集団活動の発達的な特質を踏まえた指導

(1)は、現行では「集団活動の充実」とされていたものが、「学校における集団活動
や体験的な活動の一層の充実」となっています。書かれていることは、あまり変わ
っていませんが、“学校における”という言葉がついたことで、これまで以上に、
学校での集団活動というものを充実させていく必要があるということでしょう。

(2)はほとんど変わりませんが、「(3)学校生活における集団活動の発達的な特質を
踏まえた指導」というのが、新しく付け加わりました。

その中身に「児童期の集団活動の発達的な特質」として、低学年・中学年・高学年
に分けて、それぞれの具体例が示されています。

ここでは、発達的特質の具体例だけでなく、それぞれの段階における教師の手立て
としての具体策までが書かれているのです。

発達的特質というものが、ここまで具体的に書かれているというのはどういうこと
でしょうか？

長く教員を続けていると、それまでの経験によって、子どもたちを見る目がどうしても固定化されてきます。そして、子どもたちのその場の行動を見て、表面的に理解しようとしみます。本来ならば、発達特性というものを知ることによって解決できることも、経験だけで判断しようとする、間違った方向に動いてしまうことにもつながることがあります。そこで、時により、この発達特性を読むことで、経験で身につけたものとのズレを修正できると思うのです。

3 山口学級活動ネットワーク冬の学習会のお知らせ

1 1月も中旬となり、日に日に寒さが厳しくなってきました。
本年度も、山口学級活動ネットワーク恒例の学習会を行います。このたびは、特別活動「希望の会」とのコラボということで、行います。
第一次案内ということでお知らせしますので、ぜひ、この日を空けておいてください。

期日：平成21年1月11日（日）

会場：山口県教育研修所 セミナーパーク

内容（予定）

1 役立ち実践コーナー

…3人の実践家のみなさんに、新指導要領にそった実践を提案してもらいます。
一人30分程度。ネットワークが大事にしてきた「持ち込み実践コーナー」です。

2 楽しい学校づくり

…校長先生が特活を使って学校づくりをするとこんなに楽しい学校ができますよ！という実践をお話ししてもらおうと思っています。講師は、現在交渉中です。

【昼食】

3 ワークショップ～新学習指導要領での課題を考える

…参加者といっしょに新学習指導要領における特別活動の実践課題について考えてみようというコーナーです。この課題については、当日までのお楽しみ。
話し合いによる課題解決を体験してみましよう。

4 講演…杉田調査官による講演

…ワークショップで出されたことを受けて、文部科学省の杉田調査官に「特別

活動実践上の課題」を語ってもらうことにしています。

調査官は、当日、山口入りされます。その日の夜の懇親会には参加されますので、みなさん、夜まで残ってください。

4 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第68号は11月下旬ごろ発行予定です。

次号も、「夏の研修会より」というテーマで、話合いを活性化するアイデアについてまとめます。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は242名です。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆内容の充実について◆◇◆

このメールマガジンでは、読者のみなさんのニーズに応える紙面作りに取り組んでいこうと思っています。こんな内容について書いて欲しい。こういう情報が欲しい、ということをお知らせください。

sugi-net@c-able.ne.jp

本年度中に特別活動の年間計画をつくる必要があります。そのあたりについても可能な限り書いていこうと思います。

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

本メールマガジンでは、次のような新しいテーマで情報交換を行ってみようと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

*こんな時、どうする？コーナー

学級での生活の中でのいろいろな場面を想定し、その時、どういう手立てをうてばよいか、についての実践を紹介してください。これまでに取り組まれたことのある実践もお待ちしています。

*学級づくりで、はっ！とさせられたこと

長く学級担任をやっていると、自分のやり方が当たり前になってしまっていることに気づかされることがあります。それを教えてくれるのが子どもたちだったりします。そういう出来事や子どもたちのつぶやきを紹介してください。

*子どもってすごいなあ！と思ったこと

子どもがもっているものって素晴らしいです。子どもたちといると、「子どもってすごいなあ」と感心させられることが多々あります。子どもたちのそういう姿を紹介しあいませんか。

みなさんも、ぜひ以下のアドレスまでよろしくお願いします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（美祢市立伊佐小）

吉田哲朗（山口大学教育学部附属山口小）

=====